平成30年度

事 業 報 告 書

旭川市工芸センター

平成 30 年度 事業報告書

目 次

1　工芸センターの概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1

2　技術指導・各種相談・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　4

3　機械設備使用・試験分析業務・・・・・・・・・・・・・・・・　4

4　研修会・講習会・講演会・・・・・・・・・・・・・・・・・・　5

5　販売促進支援事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　6

6　情報収集・提供事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　6

7　人材育成・販路開拓・製品開発支援事業・・・・・・・・・・　6

8　受入研修・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　7

9　講師・審査員・委員等派遣・・・・・・・・・・・・・・・・・　7

10　補助事業支援（採択事業）・・・・・・・・・・・・・・・・・・　7

○　旭川工芸技術等継承事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・　8

○　ものづくりサマーキャンプ・・・・・・・・・・・・・・・・・　11

○　あさひかわ出前講座・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　11

○　親子木工体験教室 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　12

○　旭川デザインウィーク 2018 ・・・・・・・・・・・・・・・・　12

○　22nd 旭川陶芸フェスティバル・・・・・・・・・・・・・・・・　13

○　技能五輪全国大会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　13

1　工芸センターの概要

当所は，旭川市の主要産業である木工芸及び窯業の生産技術向上並びに品質の改善等の研究指導を行い，これら工業の振興発展に寄与することを目的に設置された。

(1) 沿革

昭和 9年(1934)	4月	技術指導機関として木工，窯業，農産加工を含む旭川市立産業指導所が設置される。
昭和18年(1943)	3月	第二次世界大戦のため，産業指導所を廃止する。
昭和21年(1946)	1月	業界の要望，地域の特殊性を生かすため常磐公園内に旭川市窯業指導所が設置される。
昭和23年(1948)	10月	旭川市共同作業所が設置される。
昭和30年(1955)	4月	旭川市共同作業所を廃止して旭川市木工芸指導所が設置される。
昭和42年(1967)	4月	施設狭あい等の理由により，窯業指導所を木工芸指導所敷地内へ新築移転する。
昭和51年(1976)	5月	木工芸指導所，窯業指導所を統合し旭川市工芸指導所と改称する。
平成 8年(1996)	4月	工芸指導所の施設設備の老朽化が著しく，「豊岡3条3丁目」から現在地に移転する。
平成 9年(1997)	12月	旭川市工芸センターと改称する。
平成11年(1999)	11月	町名変更及び住居表示の実施により所在地住所が「旭神町1番1347」から「緑が丘東1条3丁目1番6号」に変わる。
平成20年(2008)	5月	機構改革により「商工観光部工芸センター」から「経済観光部ものづくり推進室工芸センター」となる。
平成23年(2011)	4月	ものづくり推進担当部長の配置及びものづくり推進室の廃止により,「経済観光部工芸センター」となる。
平成26年(2014)	4月	係を廃止し，スタッフ制となる。
平成30年(2018)	4月	観光スポーツ交流部の新設に伴い,「経済観光部工芸センター」から「経済部工芸センター」となる。

(2) 施設

位　　置　　旭川市緑が丘東1条3丁目1番6号　旭川リサーチセンター内
敷地面積　　10,315.70㎡
延床面積　　5,520.905㎡(うち工芸センター　1,825.25㎡)

【内訳】

事　務　室	101.13㎡	集　塵　室	56.60㎡
ミーティング室	33.94㎡	窯業研究室	192.69㎡
技術開発室	203.40㎡	材料試験室	50.05㎡
機械加工室	363.93㎡	製品試験室	55.14㎡
合　板　庫	30.60㎡	コンピュータ室	67.06㎡
資　材　庫	96.00㎡	会　議　室	79.46㎡
塗　装　室	55.00㎡	ショールーム	163.61㎡
木材乾燥スペース	65.02㎡	そ　の　他	140.78㎡
接着金工室	70.84㎡		

(3) 組織

機構　　1課（スタッフ制）　11人

経済部長 ―― 工芸センター所長 ―― スタッフ（10人）

企画調整
庶務
情報収集提供
販売促進支援
技術指導
人材育成
技術開発
製品開発
試験分析

嘱託職員(技術指導)　1人
嘱託職員(機械保守整備)　1人

(4) 運営委員会

当所の円滑な運営を図り，関係業界，有識者等の意見を反映するため，旭川市の附属機関として旭川市工芸センター運営委員会を設置しており，平成30年度は平成30年8月9日に開催した。

業界代表		学識経験者	
旭川家具工業協同組合	長谷川将慶	地方独立行政法人　北海道立総合研究機構 森林研究本部　林産試験場	関　一人
〃	關口　洋平	北海道立旭川高等技術専門学院	佐藤　勝幸
旭川建具事業協同組合	河野　広秀	東海大学	笹川　寛司
旭川地方木材協会	三津橋　央	国立大学法人 北海道教育大学旭川校	岩永　啓司
旭川木のモノ組合	高橋　秀寿	北海道インテリアコーディネーター協会	渋谷あずさ
旭川陶芸協会	滝野沢泰子		

※　任期　平成29年12月1日から平成31年11月30日までの2年間

(5) 主要設備

【試験研究用機械】

3次元CAD/CAMシステム
5軸制御NCルータ実験機
体圧分布測定システム
家具強度試験機
椅子強度性能試験機
形状粗さ測定器
材料接合部強度試験機
耐光性試験機
UV塗装乾燥試験炉
振動試験装置
恒温恒湿環境試験機
家具等繰返し耐久性試験機

【加工機器】

各種汎用木工機械
炭酸ガスレーザ彫刻システム
ワイドベルトサンダー
側圧付コールドプレス
カットボーリングマシン
高周波発信機
木工用ロクロ

【窯業機器】

真空土練機
ボールミル
ポットミル
フィルタープレス
電動ロクロ
機械ロクロ
電気窯
ガス窯
上蓋式電気炉
ガス炉実験機
耐火度試験機
電動タタラ板製造機

(6) 使用料及び手数料

① 使用料

設　備		1件の単位(時間)	使用料(円)	設　備		1件の単位(時間)	使用料(円)
木工機械	帯のこ盤	1	310	木工機械	ストロークサンダー	1	480
	高速度単軸面取盤	1	300		プレス機	1	1,200
	卓上ボール盤	1	270		5軸制御NCルータ実験機	1	3,150
	リンク式横切丸のこ盤	1	320		炭酸ガスレーザ彫刻システム	1	2,430
	高速丸のこ盤	1	310		ワイドベルトサンダー	1	1,100
	角のみ盤	1	280		長円ほぞ取機	1	570
	ダボ孔ボーリングマシン	1	470		自動長穴明機械	1	520
	手押かんな盤	1	310		コーナーロッキングマシン	1	520
	自動かんな盤	1	370		糸のこ盤	1	290
	4軸ほぞ取盤	1	390	試験機器	耐光性試験機	1	860
	エッジベルトサンダー	1	420		恒温恒湿環境試験機(大)	24	5,310
	リップソー	1	360		恒温恒湿環境試験機(小)	24	1,390
	4点式万能帯のこ盤	1	350		家具強度試験機	1	720
	高周波加熱装置	1	740		振動試験装置	1	4,350
	そで付昇降盤	1	470	窯業機械	電動ロクロ	1	120
	高周波ルータ	1	630		真空土練機	1	150
	カットボーリング面取機械	1	730				

② 手数料

業　務		1件の単位	手数料(円)	業　務		1件の単位	手数料(円)
木材木質材試験	強度試験	5試片(料)まで	610	塗料及び塗膜試験	塗膜強度試験	1条件5試料まで	270
	含水率測定	1条件5試片(料)まで	370		耐摩耗試験	5,000回ごと	280
接着力試験		1条件5試片(料)まで	610	振動試験		1条件	31,500
製品性能試験	繰返し荷重試験	4,000回ごと	1,760	その他の木工関連試験		31,500円以内で その都度市長が定める	
	繰返し衝撃荷重試験	4,000回ごと	1,760				
	静的強度試験	1条件	830	窯業試験・調整	吸水試験	1試料	330
	衝撃試験	1条件	830		強度試験	1試料	530
	耐久性試験	12,500回ごと	3,680		乾燥試験	1試料	210
恒温恒湿処理試験(大)		1日	5,580		材料調整	1kg	680
恒温恒湿処理試験(小)		1日	1,670	その他の業務		31,500円以内で その都度市長が定める	
恒温水槽試験		1日	300				
試験分析成績証明書		1件又は1通	210				

2　技術指導・各種相談

企業からの依頼に応じ技術・設備・管理計画等の個別課題に関し，次のとおり指導・相談を行った。

技術指導・技術相談の内容	技術指導	相談
木材乾燥関連	1	2
コンピュータ関連技術	18	6
デザイン関連技術	0	0
木材加工技術（木材加工等）	22	10
接着接合・塗装技術	2	2
材料強度関連	2	2
製品の品質，性能に関する技術（JIS試験等）	6	7
窯業技術（釉薬，成型，焼成）	10	9
その他（補助金申請支援，加工過程，研究支援，展示会支援 他）	0	17
計	61	55

※技術指導には巡回技術指導・外部講師による企業実地指導を含む。

3　機械設備使用・試験分析業務

(1) 機械設備使用

設備名		件数	時間	設備名		件数	時間
木工機械	帯のこ盤	66	110	木工機械	ストロークサンダー	8	11
	高速度単軸面取盤	16	16		プレス機	4	4
	リンク式横切丸のこ盤	57	59		５軸制御ＮＣルータ実験機	77	205
	高速丸のこ盤	45	72		炭酸ガスレーザ彫刻システム	108	213
	角のみ盤	6	6		ワイドベルトサンダー	96	107
	ダボ孔ボーリングマシン	1	1		長円ほぞ取機	22	38
	手押かんな盤	75	113		自動長穴明機械	2	6
	自動かんな盤	106	107		コーナーロッキングマシン	1	1
	エッジベルトサンダー	35	60		糸のこ盤	15	37
	リップソー	45	45	その他	真空土練機	1	2
	４点式万能帯のこ盤	2	4		耐光性試験機	2	12
	そで付昇降盤	164	350				
	高周波ルータ	49	93				
総件数　1,003件				総時間　1,672時間			

(2) 試験分析業務

業務内容	件数	業務内容	件数
・木材木質材試験		・製品性能試験	
強度試験	57	繰返し荷重試験	2
含水率測定	31	繰返し衝撃荷重試験	75
・接着力試験		静的強度試験	208
接着力試験	13	衝撃試験	58
・恒温恒湿処理試験		耐久性試験	180
恒温恒湿処理試験（小）	33		
・恒温水槽処理試験			
恒温水槽試験	5		
総件数　662件			

4　研修会・講習会・講演会

企業における総合的技術を備えた人材を育成するため，企業社員等を対象として技術・技能の基礎知識，応用技術，最新技術等について実践的講座等を開催した。

また，一般市民向けの講習会や，小学生・高校生を対象とした製作体験・学習会等を開催した。

事業名 研修名／講習会名	テーマ／内容	期　間	参加者数 (延べ)	講　　師
ものづくりサマーキャンプ 木工コース （全２回）	(1 回目) 工場見学	H30.7.30	32人	(見学企業) 木製品２社，鉄工業2社
	(2 回目) 工場見学	H30.8.6	7人	(見学企業) 木製品２社，鉄工業2社
	インターンシップ	H30.8.7 ～8.8	4人	株式会社アルフレックスジャパン
旭川工芸技術等継承事業 家具実習コース （全７回）	指物製作技術	H30.8 .23 ～10.4 (7日間)	100人	アートクラフトバウ工房 代表　大門　嚴 氏
旭川工芸技術等継承事業 建具実習コース （全４回）	伝統建具の製作技術 組子衝立の製作	H31.2.6 ～2.28 (4日間)	13人	有限会社杏和建具 代表取締役　髙木　　均 氏
旭川工芸技術等継承事業 窯業実習コース （全４回）	焼成条件の違いによる素地と釉調の変化	H30.10.24 ～11.21 (4 日間)	27人	当所職員　　佐藤亜沙美
旭川工芸技術等継承事業 座学コース （全4回）	半磁器土をベースとした顔料の練り込み技法	H30.9.5	8人	理創夢工房 滝本　宣博 氏
	椅子張りの基礎技術	H30.9.22	40人	東京都椅子張り工技能推進協議会 小林 重行 氏
	伝統工芸品「岩谷堂箪笥」と桜木家具店の取組 ～震災から学んだこと～	H30.11.27	12人	有限会社桜木家具店 常務取締役　髙橋　勇樹 氏
	株式会社コサイン創立30年の歩みから経験し学んだこと	H31.2.7	24人	株式会社コサイン 代表取締役社長　星　幸一 氏
旭川工芸技術等継承事業 市民向け講習会	旭川木工体験ツアー	H30.10.20	14人	株式会社ウッドパーツ 株式会社コサイン 当所職員　小関　敬之 千葉　　甲 塩飽　大輔 猪川　達也
親子木工体験教室	旭川の木工業について 加工体験（スツール）	H31.1.12	18人	当所職員　南雲　貴史 千葉　　甲 塩飽　大輔 猪川　達也 板垣　和憲
計	23回開催	25日間	299人	―

5　販売促進支援事業

家具，建具，小木工及び窯業の各分野において，それぞれの企業が開発した新製品の紹介と地場産品の販路拡大を図る各種展示会の開催・出展支援を行った。

展示会名／テーマ等		開催期間	概　　要
家具	旭川デザインウィーク 2018	H30.6.20～6.24	会　　場　旭川デザインセンターほか 出展者数　45企業･団体 来場者数　16,500人
	IFFT/インテリアライフスタイルリビング	H30.11.14～11.16	会　　場　東京ビッグサイト 出展者数　8社 来場者数　17,526人
窯業	第22回旭川陶芸フェスティバル －自然にやさしく，人にやさしく－	H30.9.22～9.23	会　　場　道北地域旭川地場産業振興センター 出展者数　114窯 来場者数　10,623 人

6　情報収集・提供事業

(1) 平成30年度　事業報告書　200 部
(2) 工芸ニュース　第82号　　400 部
(3) ホームページの拡充
(4) クラフトマップの作成

平成24年度から発行しているクラフトマップを海外からの観光客向けに，英語版「Asahikawa crafts map」も併せて発行。
発行部数　日本語版 9,000部　英語版 3,000部　合計 12,000部

(5)　実態調査

旭川地域における木製家具・木製建具・工芸品・陶磁器製造業の実態調査を行った。

調査内容	件　数
木製家具製造業実態調査	80
木製建具製造業実態調査	20
工芸品等製造業実態調査	50
陶磁器製造業実態調査	37
計	187

7　人材育成・販路開拓・製品開発支援事業　（詳細はP8から掲載）

(1)　旭川工芸技術等継承事業(実習コース・座学コース・市民向け講習会)
(2)　ものづくりサマーキャンプ
(3)　あさひかわ出前講座
(4)　親子木工体験教室
(5)　旭川デザインウィーク2018
(6)　22nd 旭川陶芸フェスティバル

８　受入研修

旭川地域の企業，教育・関係機関からの依頼に応じ，技術者，学生等の受入研修を行った。

学校名等	内　容	受入人数(人)
旭川家具工業協同組合	技能五輪全国大会家具職種研修	3
北海道旭川工業高等学校	インターンシップ	4
計	－	7

※　技能五輪全国大会の詳細については，P14に掲載。

９　講師・審査員・委員等派遣

関係機関・団体等からの依頼を受けて，対象業界の活動を支援するため，職員を派遣した。

派遣先	委嘱期間	派遣職員
一般財団法人旭川産業創造プラザ 夢づくり・ものづくり支援事業　審査委員	H30.10.11	所長 有馬　有志
2023年技能五輪国際大会招致委員会 選手強化部会「職種別分科会」委員	H30.10.25 ～H31.3.31	主査 小関　敬之

10　補助事業支援（採択事業）

ものづくり・商業・サービス革新補助金・・・・・採択数 1件

旭川工芸技術等継承事業

本事業は，実習コース，座学コース及び市民向け講習会からなる地域の人材育成事業であり，旭川地域で活躍している技術者に加え，全国的に活動しているデザイナーや技術者などを講師として招へいし，「地域の技術者から若手へ，地域の技術者からユーザーへ」をキーワードに，様々な講習会を開催した。

● 家具実習コース

キャビネットの製作方法を習得することを目的として，7 回の実習を行った。

1　テ ー マ　　指物製作技術
2　内　　容　　講師が設計したキャビネットの製作
3　開催日時　　平成 30 年 8 月 23 日（木）～10 月 11 日（木）（うち 7 日間）18:00～21:00
4　会　　場　　アートクラフトバウ工房　工場
5　受講者数　　7 人（6 企業）　7 日間 延べ 100 人　※見学の参加者 15 人（7 企業）含む。
6　講　　師　　大門　嚴 氏（アートクラフトバウ工房 代表）

実習の様子

実習の様子

● 建具実習コース

伝統建具の製作技術を理解することを目的として，3 回の実習を行った。

1　テ ー マ　　伝統建具の製作技術　組子衝立の製作
2　内　　容　　組子製作「組子衝立」の手法全般
3　開催日時　　平成 31 年 2 月 6 日（火）～2 月 28 日（木）　4 日間　18:00～21:00
4　会　　場　　工芸センター 工場棟
5　受講者数　　4 人（4 企業）　4 日間 延べ 13 人
6　講　　師　　髙木 均 氏（有限会社杏和建具 代表取締役）

実習の様子

実習の様子

● 窯業実習コース

陶芸の最終工程であり，陶磁器の仕上がりを左右する焼成への理解を深めることを目的として，4 回の実習を行った。

1　テ ー マ　　焼成条件の違いによる素地と釉調の変化
2　内　　容　　焼成温度等の条件により変化する素地と釉調についての検証
3　開催日時　　平成 30 年 10 月 24 日（水）～11 月 21 日（水）
　　うち 4 日間　合計 10 時間
4　会　　場　　工芸センター 窯業研究室
5　受講者数　　8 人（8 窯）　4 日間 延べ 27 人
6　講　　師　　工芸センター職員

実習の様子

実習の様子

●座学コース

製作技術だけでなく幅広い分野の知識・情報の習得のため，テーマごとに専門家を招へいし，講習会を開催した。

第１回目：半磁器土をベースとした顔料の練り込み技法
1　内　　容　　半磁器土と顔料の説明，素地と顔料の配合比と混ぜ合わせ方，練り込み素地によるろくろ挽き・削り実演，受講者へのろくろ挽き指導
2　開催日時　　平成 30 年 9 月 5 日（水）18:30～20:30
3　会　　場　　工芸センター 窯業研究室
4　受講者数　　8 人（7 窯）
5　講　　師　　滝本　宣博 氏（理創夢工房 窯元）

第２回目：椅子張りの基礎技術
1　内　　容　　椅子張り業界の現状及び技能士に求められる能力，椅子張り技術の変遷，資材，道具の説明，バネ吊り，ヘッシャンの被せ等の実演
2　開催日時　　平成 30 年 9 月 22 日（土）9:00～15:00
3　会　　場　　工芸センター　工場棟
4　受講者数　　40 人（13 企業）
5　講　　師　　小林 重行 氏（東京都椅子張り工技能推進協議会）

第３回目：伝統工芸品「岩谷堂箪笥」と桜木家具店の取組～震災から学んだこと～
1　内　　容　　伝統工芸品「岩谷堂箪笥」の歴史，伝統工芸品の販売手法，震災時の状況と復興に向けての取組，震災を経験して学んだことと今後の目標など

2　開催日時　　平成 30 年 11 月 27 日（火）18:30～20:30
3　会　　場　　リサーチセンター　２階研修室
4　受講者数　　12 人（10 企業）
5　講　　師　　高橋　勇樹 氏（有限会社桜木家具店 常務取締役）

第４回目：株式会社コサイン創立 30 年の歩みから経験し学んだこと
1　内　　容　　コサイン設立から現在まで，ＳＰＡ型「木工製品製造販売業」，製品開発の手法
これからの旭川家具について
2　開催日時　　平成 31 年 2 月 7 日（木）18:30～20:30
3　会　　場　　リサーチセンター　２階研修室
4　受講者数　　24 人（14 企業）
5　講　　師　　星　幸一 氏（株式会社コサイン 代表取締役社長）

滝本氏
（第 1 回）

小林氏
（第 2 回）

高橋氏
（第 3 回）

星氏
（第 4 回）

● 市民向け講習会

地域の方々に地場の木製品に対する知見を広げていただくため，「旭川木工体験ツアー」を開催した。

1　内　　容　　工場見学ツアー
木製メジャースプーンの製作体験
2　開催日時　　平成 30 年 10 月 20 日（土）9:00～17:00
3　見 学 先　　株式会社ウッドパーツ（旭川市永山北 4 条 6 丁目 2 番 23 号）
株式会社コサイン（旭川市永山北 3 条 6 丁目 2 番 26 号）
4　製作体験場所　工芸センター　工場棟
5　受講者数　　14 人

見学（株式会社ウッドパーツ）

見学（株式会社コサイン）

加工体験の様子

ものづくりサマーキャンプ

旭川地域の高校生を対象に，ものづくり企業への就業体験を通して地域の産業への理解を深め，進路の選択肢の１つとして定着させることを目的とした「ものづくりサマーキャンプ事業」を開催した。

１日目は木工・鉄工の両業種を訪問する「工場見学ツアー」，2・3 日目は「インターンシップ」として木工・鉄工のものづくり現場に赴き，従業員と一緒に作業を行った。

就業体験の様子

１	開催日時	第１回　平成 30 年 7 月 30 日（月）～8 月 1 日（水）（3 日間） 第２回　平成 30 年 8 月　6 日（月）～8 月 8 日（水）（3 日間） ※　各日 9:00～17:00
２	受入企業	木製品：株式会社アルフレックスジャパン 鉄工業：媚山鉄工株式会社，株式会社表鉄工，有限会社エス・ケーテクニカ他 9 社
３	見学企業	木製品：株式会社カンディハウス，株式会社ウッドパーツ 鉄工業：株式会社アルブロ，株式会社長谷川工作所，株式会社エフ・イー株式会社ケンリツ
４	受講者数	39 人（第 1 回 32 人，第 2 回 7 人）

あさひかわ出前講座

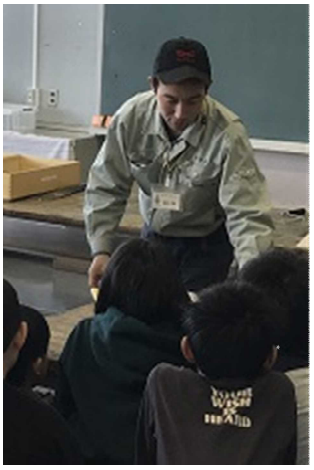
今年度より工芸センターの事業や旭川家具の素晴らしさを伝えるため，「あさひかわ出前講座」を始めた。

西御料地小学校，東栄小学校，東町小学校及び啓北中学校の 4 校から講師派遣の依頼があり，工芸センターの職員がそれぞれの学校で出前講座を行った。

講座の内容は小学校の図工科の授業で，手工具や電動糸ノコの使用説明と実演，総合的な学習や課外授業では旭川家具の歴史の講義とワークショップ，学校が主催する催しでは，スツール作りの講座を行った。

受講者は合計で約 140 名を数え，参加者からは「ものづくりに興味を持った」「旭川の家具について勉強できた」などの声が多数聞かれた。

今後は，当センターの事業活動や旭川家具の魅力を発信する取り組みとして，更に内容を充実させていく。



出前講座の様子

親子木工体験教室

市民の皆さんに旭川家具やクラフトなど，地域の木工産業への理解を深めてもらうため，冬休み期間中の１月１２日(土)に小学４年生から６年生の児童とその保護者を対象とした「親子木工体験教室」を開催した。

体験の様子

１　内　　容　　スツールの製作，加工実演
　　小学生向け地域の木工産業の講習
２　開催日時　　平成 31 年 1 月 12 日（土）　10:00～14:40
３　会　　場　　工芸センター 会議室・工場棟
４　受講者数　　18 人(小学校 4 年生以上の児童とその保護者 9 組)
５　講　　師　　工芸センター職員

旭川デザインウィーク 2018

今回で４回目の開催を迎え，初夏の一大イベントとしてすっかり定着した「旭川デザインウィーク」は「インディビジュアル」をコンセプトに６月 20 日(水)から 24 日(日)までの５日間，旭川デザインセンターをメイン会場に行われた。

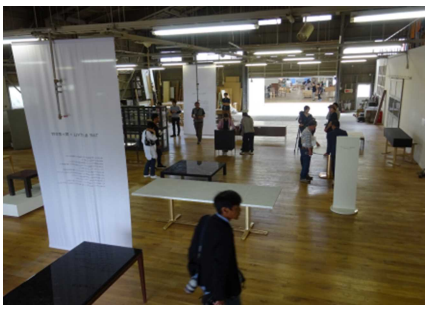
今回は旭川家具の新提案を行う「旭川家具エキシビション」や「オープンファクトリー」などの主要企画はもちろんのこと，メイン会場にはアーティストユニット「デイジーバルーン」が手がけたスペシャルインスタレーションが登場し，約２万個の白いバルーンで表現されたスケール感ある幻想的な造形に会場を訪れた来場者からは歓声が上がっていた。

世界的プロダクトデザイナー喜多俊之氏と空間デザイナー成ヶ澤伸幸氏がデザインし，おもてなしにふさわしい心地よいホテル空間を提案する「ホテルスペースデザインプロジェクト」といった意欲的な新企画に加え，週末開催の市民向けイベント「ファクトリーツアー」や「親子木工教室」など様々なイベントが行われた。

１　会　　期　　平成 30 年 6 月 20 日（水）～6 月 24 日（日）
２　会　　場　　旭川デザインセンター（旭川市永山 2 条 10 丁目）ほか
３　来場者数　　約 16,500 人
４　主　　催　　旭川家具工業協同組合，旭川商工会議所，旭川市

旭川家具メーカー9 社の作品が並んだ
「ホテルスペースデザインプロジェクト」

スペシャルインスタレーション
「ヒトトモリ」



「ファクトリーツアー」

22nd 旭川陶芸フェスティバル

「自然にやさしく，人にやさしく」をテーマに，やきものの普及と愛好家の拡大，やきものが持つ人と環境に対するやさしさへの理解を深めてもらうことを目的として，旭川やきもの協会の主催で毎年 9 月に開催されている。今回は全道から 114 窯が参加し展示販売を行ったほか，様々な催しが行われた。

ろくろ実演では窯元の技に見入る来場者で人垣ができ，陶芸体験では，多くの親子連れが手びねりで思い思いの作陶を楽しんでいた。

チャリティー福袋は販売開始から数分で完売する盛況ぶりで，収益金は北海道胆振東部地震災害義援金として，日本赤十字社へ全額寄付された。

会場風景

毎年好評の特別企画展は，日々の食卓に彩りを添える飯碗と箸置きセットの展示「-めし碗×はしおき- いただきますセット展」を開催し，伝統的なうわぐすりや技法を用いたものからユーモア溢れる一点ものまで，各窯元の自信作が目白押しの見ごたえある展示となり，目移りしながらお気に入りの作品を手に取る来場者の姿も見受けられた。

また，子供達に土に触れる楽しさを知ってもらうことを目的に，「小学生対抗 伸ばして積んでつんで競争」と題した粘土を高く積み上げる競争を実施し，小学生の無邪気かつ真剣な姿に来場者からは拍手と声援が送られ，会場内は大いに盛り上がった。

1	会　　期	平成 30 年 9 月 22 日（土），23 日（日）10:00～17:00（23 日は 16:00 で終了）
2	会　　場	旭川地場産業振興センター（旭川市神楽 4 条 6 丁目 1 番 12 号）
3	出展者数	114 窯
4	来場者数	10,623 人
5	主　　催	旭川やきもの協会　旭川陶芸フェスティバル実行委員会

技能五輪全国大会

年に 1 度開催されている家具職種技能五輪全国大会に出場する荻野圭一さん(杏和建具)，倉橋司さん（プレステージジャパン），三戸裕太さん（カンディハウス）の 3 名の研修依頼があり，9 月 25 日から 10 月 30 日までの約 1 か月間，工芸センターで受入研修を実施した。

受入れに際しては，旭川高等技術専門学院と連携し研修内容を組み立てた。研修では，競技本番を意識し時間内に課題を製作する実践的な練習方法を中心に行った。また，大会経験者からの直接のアドバイスをはじめ工芸センターに来所する熟練技術者からも技術的な指導を受けた。

全国大会は 11 月 3・4 日に沖縄県で開催され，競技は課題のキャビネットを 11 時間 30 分以内で製作するというもので，3 選手とも落ち着いた様子で着実に作業を進め，時間内に課題を完成させた。制限時間内に完成させることができない参加選手が多数いる中，結果は銀賞 2 名，銅賞 1 名と見事全員が上位入賞を果たした。

今後も旭川の選手が技能五輪に参加する際には今回の経験を生かし，選手のスキルアップに貢献できるよう支援を行っていく。

各地域の選手とともに

発行：旭川市工芸センター

〒078-8801
北海道旭川市緑が丘東１条３丁目１番６号　旭川リサーチセンター内
TEL：(0166) 66-1770　　FAX：(0166) 66-1776
URL：http://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/kurashi/364/365/369/d053192.html
e-mail：kougeicenter@city.asahikawa.lg.jp